

平成29年度消費・安全対策交付金 評価概要一覧

(1)食料安全保障確立対策推進交付金(一般交付型)

目的	目標	目標値、実績値及び達成度			事業評価		
		目標値	実績値	達成度	判定	評価概要	
I 農畜水産物の安全性の向上	安全性向上措置の検証・普及のうち農業生産におけるリスク管理措置の導入・普及推進	カドミウム低吸収性イネの実証面積	2.2a	2.2a	100%	A	カドミウム低吸収性イネの栽培実証により生育特性等に係る知見が得られた。
	農薬の適正使用等の総合的な推進	農薬の不適切な販売及び使用の発生割合	6.8%	4.9%	102.0%	A	農薬販売店の立ち入り検査や農薬管理指導士の認定、農薬適正使用に関する各種研修会の開催等により、広く農薬の適正販売・使用の啓発を実施した。この結果、農薬使用者及び販売者の意識向上につながった。
	畜産物の安全の確保	立入検査等実施率	1.2%	1.3%	108%	A	立入検査の結果、不適正な飼料の管理状況はなく、飼料の適正管理や利用に係る指導・啓発をとおして、飼料関連事業者等の意識向上につながった。
	水産物の安全の確保	貝毒発生調査の総実施数	26回	32回	123%	A	当初計画を上回る貝毒検査を実施し、貝毒発生状況の把握により、人身被害の未然防止につながった。
III 伝染性疾病・病害虫の発生予防・まん延防止	家畜衛生の推進	家畜衛生に係る取組の充実度	101	140.7	139.2%	A	本県においてもHPAIウイルスの発生リスクが高まっていたが、農場防疫を強化することで、発生防止につながった。
	養殖衛生管理体制の整備	養殖衛生管理指導を実施した経営体数の養殖等経営体総数に占める割合	90%	87%	97%	A	計画どおり養殖衛生管理指導が行われており、安全な養殖水産物の生産供給体制の確保が図られた。
	病害虫の防除の推進	IPM実践指標値の現状値からの向上率	106%	108%	102%	A	現地実証試験の実施により、IPMの推進に役立つ総合的な防除対策に係る知見や技術を得た。新規品目(茶)のIPM実践指標を作成した。
	重要病害虫の特別防除等	対象病害虫の調査の総回数	1,964回	1,964回	100%	A	定期的な調査により、重要病害虫の本県への未侵入を確認した。